

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
外国語「英語コミュニケーションⅠ」	All Aboard! English Communication Ⅰ（東京書籍）	3単位	工業科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>1 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりする力を身に付ける。</p> <p>2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりする力を身に付ける。</p>
---------	---

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	Lesson 1 Breakfast around the World!	4	好きな食べ物について、英語で述べることができる。	中間
	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	5	好きな動物について、英語で述べることができる。	
	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	6	ある場所への生き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。	期末
	Lesson 4 A Miracle Mirror	7	行ってみたい場所について、英語で述べるができる。	
2学期	Lesson 5 Learning from the Sea	8	将来の夢について、英語で述べるができる。	中間
	Lesson 6 The Funny Picture from the Edo Period	9		
	Lesson 7 A Diary of Hope	10	好きな絵について、英語で述べるができる。	期末
	Lesson 8 A Door to a New Life	11	関心のある人物について、英語で述べるができる。	
3学期	Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	1	環境を守るためにできることについて、英語で述べるができる。	学年末
	Lesson 10 Pigs from across the Sea	2		
		3	海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べるができる。	

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなど既存の知識や技能と関連付けることによって理解を深めている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて主体的に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題等で総合的に評価する。	授業中に実施する小テストや定期考査、家庭学習課題の記述内容や発表内容及びレポートやペア・グループ活動、プレゼン等で総合的に評価する。	振り返りシートの内容や自己評価及び相互評価等で総合的に評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> 授業では、音読を重視し、積極的に英語でのコミュニケーション活動に参加しましょう。 内容を理解するだけでなく、内容について自己表現できる英語力を身に付けましょう。 家庭での予習・復習を必ず行い、PC とデジタル教科書を活用し、自ら進んで学習しましょう。
